

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 29 年 8 月 17 日 (2017.8.17)

【公開番号】特開 2016-165545 (P2016-165545A)
 【公開日】平成 28 年 9 月 15 日 (2016.9.15)
 【年通号数】公開・登録公報 2016-055
 【出願番号】特願 2016-101695 (P2016-101695)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 7 月 3 日 (2017.7.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

始動口に設けられた所定の領域を遊技球が通過することにより、遊技者に有利な特別遊技を行うか否かの判定を行う特別遊技判定手段と、

前記判定の結果に基づいて、所定の操作可能期間において、遊技者によって操作可能な操作手段が操作されることに応じて所定の演出を実行することが可能な演出実行手段と、

前記所定の領域に対する遊技球の通過状態に応じたレベルの信号を出力するスイッチ手段と、

前記スイッチ手段により出力される信号に基づいて、予め定められた間隔で繰り返し実行される反復処理により、前記所定の領域を遊技球が通過したか否かを判定する判定手段とを備え、

前記判定手段は、

前記スイッチ手段により出力された信号のレベルが所定の閾値レベルよりも第 1 方向に位置すると判定する第 1 判定、又は、当該信号のレベルが当該所定の閾値レベルまたは当該所定の閾値レベルよりも前記第 1 方向と反対の第 2 方向に位置すると判定する第 2 判定を行う信号レベル判定手段と、

第 n (n は自然数) 回目の反復処理における 1 回の前記第 1 判定が行われてから第 n + 1 回目の反復処理において前記第 2 判定が行われると、当該第 n + 1 回目の反復処理において更に判定が行われ、当該判定が前記第 2 判定である場合に、前記所定の領域を遊技球が通過したと判定する通過判定手段とを有する、遊技機。

【請求項 2】

前記演出実行手段は、前記演出として、第 1 演出を実行するときと、前記第 1 演出よりも期間が長い第 2 演出を実行するときとがある、請求項 1 に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

本発明の一局面に係る遊技機 (1) は、

始動口に設けられた所定の領域を遊技球が通過することにより、遊技者に有利な特別遊技を行うか否かの判定を行う特別遊技判定手段（１００）と、

前記判定の結果に基づいて、所定の操作可能期間において、遊技者によって操作可能な操作手段が操作されることに応じて所定の演出を実行することが可能な演出実行手段（４００、５００）と、

前記所定の領域に対する遊技球の通過状態に応じたレベルの信号を出力するスイッチ手段（近接スイッチ）と、

前記スイッチ手段により出力される信号に基づいて、予め定められた間隔で繰り返し実行される反復処理（タイマ割込み処理）により、前記所定の領域を遊技球が通過したか否かを判定する判定手段とを備え、

前記判定手段は、

前記スイッチ手段により出力された信号のレベルが所定の閾値レベル（通過判定閾値のレベル）よりも第１方向（ＯＦＦ方向）に位置すると判定する第１判定（ＯＦＦ判定）、又は、当該信号のレベルが当該所定の閾値レベルまたは当該所定の閾値レベルよりも前記第１方向と反対の第２方向（ＯＮ方向）に位置すると判定する第２判定（ＯＮ判定）を行う信号レベル判定手段と、

第 n （ n は自然数）回目の反復処理における 1 回の前記第 1 判定が行われてから第 $n + 1$ 回目の反復処理において前記第 2 判定が行われ、当該第 $n + 1$ 回目の反復処理において更に判定が行われ、当該判定が前記第 2 判定である場合に、前記所定の領域を遊技球が通過したと判定する通過判定手段とを有する（図 5 ご参照）。